

たなか慶の黒絵本シリーズ(ちょいコワ)

# ひとくいばな



ぶん  
絵  
たなか  
慶

ひとくいばな



ぶんえ たなか けい  
文・絵 たなか 慶



ちいさくて おとなしい みかこは、いつもいじめっこたちに、いじめられていました。

そんなあるひ…。くろいふくの おばあさんが、やってきて、いいました。

「わたしは うらないし、なんでもわかるのよ。あなた、いつも いじめられているわね。  
このたねで、あなたのともだちを、そだててみない？」

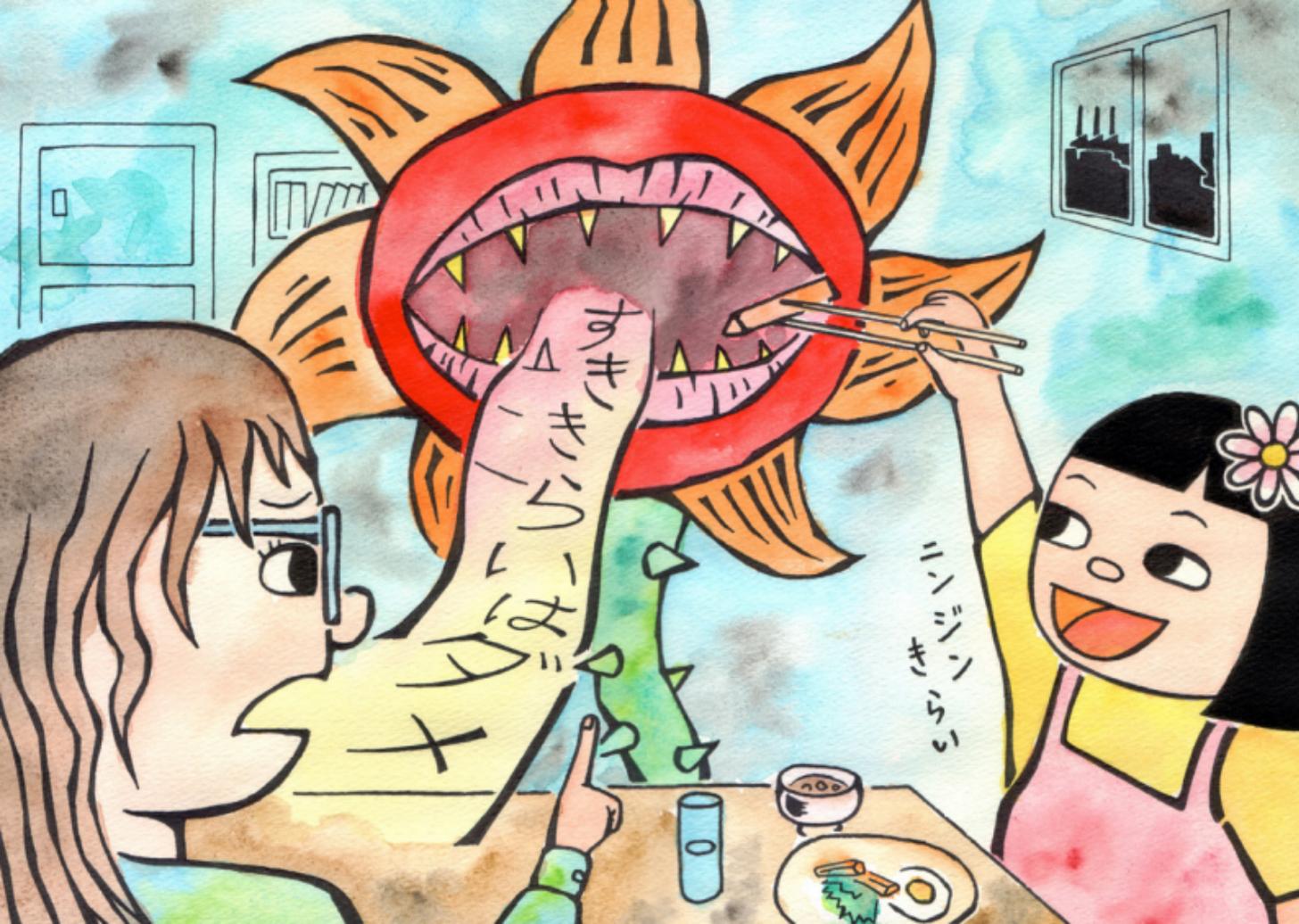


「このたねを そだてると、あかい おおきな はながさくの。  
そのはなには、おくちがあつて、あなたが きれい といったものを、  
なんでも たべてくれるの。たくさん おみずをあげて、そだててね。」  
おばあさんは、いいました。

「おみずをあげればいいのね。あげてはいけないものは あるの？」  
みかこは、ききました。

「そうねえ… なみだはだめよ。このはなは、つよいはなだから、  
なきむしはきれいなの。」うらないしは、こたえました。

「わかった。わたし、もうなかないわ。」みかこは、いいました。



なにちか、みずをあげてそだてたら、ほんとうにおおきなくちのはなが、さきました。

そして、みかこがきれいといったものを、このはなが、ぜんぶたべてくれました。すききらいばかりするみかこを、おかあさんはしかったです。すると、そのはなは、おおきなくちで、おかあさんのこえまで、すいこんでしまいました。



ためしよみ

は

ここまでです